

桐生タイムス

3月12日 月曜日

2012年(平成24年)
第17731号



発行所 桐生タイムス社
桐生市東四丁目5-21 電話0277-46-2511(代)
〒376-8528 郵便振替00310-5-12247

購読料 1部 80円
1か月 1,950円
●お申し込みは ハヤクヨクヨム
☎0120-89-4946



あすの天気

最高気温 9.0度
最低気温 1.0度

詳しい天気は8面に

南三陸町志津川地区にある防災センター前で法要を営む桐生仏教会の僧侶ら



僧侶、ボランティアら被災地で祈る

東日本大震災1年

岩沼市の恵洪寺に赴き、

東日本大震災から1年。桐生仏教会(本間光雄会長)と桐生災害支援ボランティアセンター(宮地由高センター長の役員ら11人が11日、復興に向け支援を続けてきた宮城県南三陸町と岩沼市を訪れ、鎮魂の祈りをささげるとともに、これからも支え続けようと、誓いを新たにしました。

支援継続へ誓い新たに

復興への道「これから」



掲げられた折り鶴を確認する桐生災害支援ボランティアセンターのメンバーら(南三陸町歌津地区で)

震災で命を落とした人びとの冥福を祈った。

ボランティアセンターでは昨年3月以降、南三陸町や岩沼市を繰り返し訪れ、炊き出しや泥かき・がれき撤去といった活動を展開。桐生仏教会でも昨年6月、南三陸町と岩沼市に向き、百か日(百日忌)の法要を執り行った経緯がある。

被災地で手を合わせたメンバーは、津波被害で建物の土台のみが残された集落の跡を眺め、また緒に就いたばかりの復興

への長い道を再確認。宮地センター長は「当初から仮設がなくなるまで、を合言葉に活動を続けてきた。その気持ちに変わりはなく、本間会長は「被災者にとって、これからも厳しい現実と向き合う日々が続く。心の支えになりたい」と、それぞれ決意をにじませた。

この日は南三陸町歌津地区の田東山(たつがねさん)を訪れ、歌津応援倶楽部が掲げた「鎮魂・希望・感謝の折り鶴」も見学。桐生市の広沢小・

中、樹徳高校の生徒らがつくった折り鶴も飾られており、まとめ役の松井隆さんは「きれいに飾られていた。今後も現地の要望に応じ、折り鶴のプロジェクトに協力していければ」と話していた。